

# WINDOW

## 国際ふれあい広場2019の風景



2020  
Spring  
No.72

- 当協会実施事業の紹介
  - 国際ふれあい広場2019
  - 世界を知ろう！ブラジル・中国 編
  - 高知県外国人生活相談センター活動状況について
  - 日本語ボランティア教室 in 須崎市
  - 海外技術研修員の研修先での活動報告
  - 災害時に外国人支援に従事する関係者向けの研修・訓練
- Letter from Abroad
- ミクロネシアからモリ・ファミリーがやってきた！
- INFORMATION BOARD
  - 高知日本語サロン
  - GENKI青年会 土佐弁ミュージカル2020



# 高知にいながら世界を身近に —国際ふれあい広場2019—

主催：高知県国際交流協会 共催：JICA四国センター

## ■見て・話して・食べて、楽しむ！

このイベントは当協会が主催し15回目です。2019年のテーマは ①在住外国人との交流を通して高知にいながら世界の文化を体感すること②SDGs(国連が定める持続可能な開発目標)に親しむことを掲げひろめ市場前と大橋通商店街にて開催しました。

今年は26団体がワークショップブース出展やパフォーマンスとして参画。アフリカダンス、ニャンデウティ(パラグアイの刺繍)の塗り絵、フェアトレード・ハラル食品販売、外国人向け茶道・書道など、日本人も外国人も、子どもも大人も一緒になって体験できるものが充実し、にぎやかな一日となりました！



ブースに立ち寄るこどもたち



アフリカダンス

## ■やっぱりめはよさこい鳴子踊り！

フィナーレは約15か国の外国人が出演する民族衣装のファッションショーと正調よさこい鳴子踊り。会場のひろめ市場のまわりをぐるっと輪になって踊り、よさこいのエネルギーは言語や文化を超えることを実感！今年さらには国際交流の楽しさ・力強さを感じられる1日となったのではないのでしょうか。また来年！



♪よいよさのさのさの♪

## ■イベント参加者より

・在高知インドネシア人会 エマリアさん



このイベントは自分の国の民族衣装を着たり、伝統的なものを飾ったり、雑貨や食品販売を行ったりして盛り上がりました。私にとっては一番楽しかったのはみんなでアフリカやよさこいやインドネシアの舞踊を踊ったことです。

今は高知に来る留学生や実習生もだんだん増えているのでこのイベントももっと大きくなると思います！

・KIA学生ボランティア 山崎大樹さん



このイベントに裏方としてお手伝いさせていただくのは初めてでしたが、自分自身も心から楽しめるイベントでした。またこのイベントに参加して初めて知った様々な国のことや個性的な人たちとの交流を通して国際交流の楽しさを今まで以上に知ることができました！



お手伝いいただいたKIA/JICAボランティアのみなさん

### 国際ふれあい広場2019参加団体

高知県青年海外協力隊OB会／オイスカ高知県推進協議会／  
高知県フラ協会／日中友好中国帰国者の会／  
日中友好協会高知支部／高知県国際交流課／  
オーピニア高知図書館／学生団体Aneakot／  
高知大学学生団体国際茶屋／GENKI青年会／  
高知家の国際交流員／高知大学国際協力団体すきっぷ／  
えひめグローバルネットワーク／国際ソロプチミスト高知／  
奥村多喜衛協会／  
デルタ・カップ・ガンマ・ソサエティ・インターナショナル日本支部／  
高知日本語サロン土佐支部／  
よさこい国際交流隊／在高知インドネシア人会／  
Kochi Little Hanoi／高知カゴエイラセンター／  
中芸のゆずと森林鉄道遺産協議会／  
高知県外国人生活相談センター／村上三絃道高知支部／  
JICA四国センター／高知県国際交流協会

# 世界を知ろう！ブラジル・中国 編

## 異文化理解講座 in 四万十市

11月30日、異文化理解講座を四万十市で実施しました。今回は、四万十市役所国際交流員で中国出身の左佳立さん、こうちカポエイラセンター長の久米宏幸さんを講師に、高知県海外技術研修員の森岡千恵蔵フェルナンドさんをゲストとして登場しました。左さんは、「中国いろいろ、そして今…その文化、生活などの最新情報」について発表しました。中国では、古代四大発明になぞらえ、現在は高速道路、モバイル決済、シェア自転車、インターネット通販といった新四大発明があるといったお話をしました。

久米さんはブラジル文化と歴史、カポエイラ誕生の秘密を紹介し、森岡さんとブラジルの伝統格闘技カポエイラを披露しました。今回初めて実施した交流会では、久米さんの奥様、ブラジル出身のダメラさんの手作りお菓子と、中国茶とブラジルの紅茶を味わいながら、楽しいひと時になりました。



# 高知県外国人生活相談センター活動状況について

## センターでの相談の状況

在留外国人が地域で安心して生活できるよう、在留資格・医療などの生活に関わる様々な事柄について、外国人だけでなく事業者や日本人個人からも相談を受け付け、適切な助言・情報提供、専門機関への紹介などを行っています。

相談者の母国語はさまざまですが、英語・スペイン語・中国語・インドネシア語・ベトナム語には相談員が直接対応するとともに、三者電話通訳サービスを利用して17言語に対応しており、安心して相談することができます。

相談内容はさまざまですが、雇用・労働や在留資格に関する相談が比較的多く、保険・医療、年金・税金、子育て、教育、婚姻に関する相談なども寄せられています。

また、「日本語学習」に関する相談も数多くあり、一日も早く、日本の生活に慣れ親しもうと日本語を学ぶ機会を探す外国人が少なからずいることにあらためて気付かされます。

## 出張相談会を実施しました

センターは高知市にあるので、遠方で相談が困難な市町村の外国人などの相談体制の充実が必要です。

このため、地域で開催される、インドネシア人会、日本語教室、技能実習生サッカー大会などのイベントや、国による一日合同行政相談所、出入国在留管理局の専門相談会などと連携した相談活動を行うと

ともに、12月に土佐市で独自に出張相談会を開催しました。



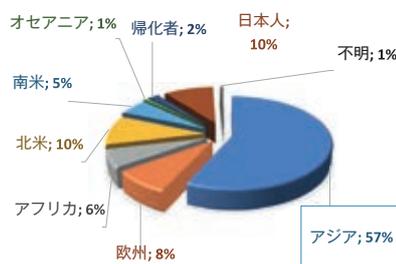
サッカー大会



土佐市出張相談会

## 外国人相談者の国籍 (2019年6月～2020年1月)

外国人の相談		国籍別構成比			
1	ベトナム	19.2%	フランス	4.1%	
3	中国	7.5%	英国	3.4%	
	フィリピン	6.2%	ベルギー	0.7%	
	インドネシア	6.2%	アフリカ諸国	6.2%	
	台湾	4.8%	2	カナダ	8.9%
	インド	4.8%		米国	1.4%
	韓国	2.7%		ブラジル	5.5%
	ネパール	2.1%		オーストラリア	0.7%
	ミャンマー	2.1%		帰化者	2.1%
	ラオス	0.7%		日本人(代理)	9.6%
	モンゴル	0.7%		不明	0.7%



Copyright © 2020 Kochi Consultation Center for Foreign Residents  
Kochi International Association

外国人相談者の国籍 (2019年6月～2020年1月)

## 新たな通訳スタッフが加わりました

12月から当センターに、新しく留学生の3名の通訳スタッフに加わり、それぞれ中国語、インドネシア語、ベトナム語に対応しています。

1週間に1、2回勤務し、勤務日は、センターホームページ「センターについて」の「対応言語」の枠内にある「通訳スタッフのスケジュール(日本語)」からご確認ください。



## これからの取り組み

運営協議会や法テラスなどの地域の専門機関との連携を通じた相談の質の向上や、地域での出張相談会の開催などにより、外国人や外国人と関わりを持つ地域社会から信頼され、なくてはならない存在を目指し、外国人との共生社会の実現に向けた継続的な支援を積極的に推進してまいりますので、連携、開催を希望される団体はぜひご連絡ください。

# にほんごでわいわいinすさき - 須崎日本語ボランティア教室

須崎市の多ノ郷公民館にて2020年1月から日本語教室が始まりました！わいわい楽しく、勉強したり、交流したり。外国人と地域との交流の拠点のような場所を目指します！

交流会の時にフィリピン料理を技能実習生に教えてもらい作りました。レシピを紹介します。



楽しかったですね～

## Adobo 鶏肉とじゃがいものアドボ 【4人分】

**材 料** 鶏もも肉、400g にんじん半分、じゃがいも2個  
にんにく、しょうが、酢、しょうゆ、水 適量  
粒胡椒 少々、ローリエの葉1～2枚

### 作り方

1. にんにく・しょうがをみじん切りにする。じゃがいも、にんじん、鶏肉を一口サイズに切る
2. 大き目のポウルに鶏肉、しょうゆ、にんにく、しょうがを入れよく混ぜ、1時間以上漬け込む
3. 熱したフライパンに油をひき、鶏肉、野菜を焼く
4. 鶏肉に火が通ったら、ポウルに残った液と水・酢を加え10分ほど煮込む
5. ローリエの葉と粒胡椒、酢・砂糖・塩を加えて鶏肉に照りがでるまで煮込み完成

フィリピンの家庭料理の定番。豚肉が一般的ですが鶏肉でも○白ごはんと一緒に皿によそいます。フィリピンの味、日本の味と少し似ています。



完成！



手慣れていきます！

# 海外技術研修員の研修先での活動報告

昨年6月に南米から来日した高知県海外技術研修員はもうすぐ10カ月の研修を終え、今年3月にはそれぞれ母国へ帰る予定です。そんな3人の、高知県での目ざましい活躍ぶりをお知らせします！

## 山本荒川ホアキン和也

研修機関 高知県農業技術センター  
研修分野 土壌管理

暑い真夏の中、ビニールハウスで野菜を植える作業をしていました！日々万全の態勢で取り組めるよう、夜8時に就寝し朝は5時起床。毎日お弁当を作っているそうです。気合が感じられますね！「研修先での思い出はいい事ばかりで、振り返ってみるとあっと言う間に10ヶ月が過ぎようとしていることに気がつき、残り数ヶ月を悔いなく過ごし、頑張りたいたいと思います。」



ラディッシュ等を植えています

(山本)

## 森岡千恵蔵フェルナンド

研修機関 株式会社タナカショク  
研修分野 食品加工

カラオケが大好きな千恵蔵君は、日本語で歌うのが得意！11月には、東京出張で、「第7回土佐っておいしい！食の大商談会2019」が開催されタナカショクの豆腐ジャーキー等を紹介しました。「高知はとて素晴らしい県であり、日本の文化がまだ残っているので、私が忘れていたとても大切なことを思い出ことができました。高知県と日本の文化全てに感謝します。」



東京出張先での様子

(森岡)

## 田辺寺林サマラ涼子

研修機関 国際デザイン・ビューティカレッジ  
研修分野 グラフィックデザイン

絵を描いたり、鑑賞するのも好きな涼子さん。自身が描いた作品が県展で入選しかるぼーとに展示されました！日本語も日々上達し、研修先の指導員も驚く程です。「高知に住む機会を得て、新しいことを経験し、沢山のユニークな場所を訪れたことを本当に嬉しく思います。日本で勉強出来た機会を活かし、パラグアイへ戻ったら大きい目的として、エステ日本人会、日系社会や会社などで貢献したいです。」



かるぼーとにて作品展示

(田辺)

## 出前講座の様子

南米文化や日系社会のことを紹介する講座やイベントを小中高生向けに沢山行いました。



香南市立野市東小学校



高知北高等学校



高知国際中学校



# 災害時に外国人支援に従事する 関係者向けの研修・訓練



**9**月14日（土）高知市で、自治体国際化協会（CLAIR）主催による「災害時に外国人支援に従事する関係者向けの研修・訓練」が開催されました。クレア災害時外国人支援アドバイザー2名を講師にお迎えし、中国四国地区の地域国際化協会職員をはじめ、県・政令都市職員、語学ボランティア等27名の参加がありました。

**は**じめに、「仙台市災害多言語支援センターの取組み」と題して、（公財）仙台観光国際協会 須藤 伸子 氏から東日本大震災時のセンター活動概要や運営上の課題などの講義のあと、NPO法人多文化共生マネージャー全国協



高橋 伸行氏(左)と須藤 伸子氏(右)



災害多言語支援センター設置訓練

議会 理事 高橋 伸行 氏から、多言語支援センターの設置・運営訓練の進め方についての説明がありました。そして参加者は4グループに分かれ、センターに寄せられた災害情報の仕分けや多言語チラシの作成などの作業を行いました。その後、県内の在住外国人のみなさんに外国人避難者役として参加していただき、会場に設置した仮想避難所の巡回訓練を行い、情報の把握や引継ぎ業務を行いました。



避難所巡回訓練

**ふ**りかえりでは、講師から「災害時には、パソコンやWi-Fi等が使えない場合があるため、想像力を働かせ、ある物を使って対応するためのイメージーションとクリエイティブの2つの力を覚えてほしい。」とのお話がありました。また、座っている避難者と同じ目線で話すこと、情報の提供では避難者を不安にさせないために本当に必要な情報のみとすることなどのアドバイスがありました。



**最**後に、外国人避難者役の県内在住外国人からは、災害時は母国語の方が安心できる、翻訳アプリを使用する場合は、敬語は使わず、なるべく短い文章の方が認識しやすいのではないかなどの意見がありました。

**今**回の研修・訓練は、参加者全員がそれぞれの立場で災害多言語支援センターへの関わり方を学ぶことができた有意義な1日となりました。今後は、速やかな支援体制の確立と訓練の継続が必要だと感じました。



外国人避難者役のみなさんの意見発表

# 「Letter From Abroad」

— JICA海外協力隊 2018年度2次隊  
道願 正歩 (パナマ作業療法士)

パナマの特別支援学校で活動をしている道願と申します。パナマは、中米の最南端に位置し、人口は約400万人程度、気候は日本の夏のような暑さです。有名なパナマ運河があり、比較的裕福な国であるとされ、多国籍レストランや映画館を含んだモール、綺麗なビーチがあり、旅行で訪れることも可能です。

そんなパナマで、バスで約4時間のチトレという場所で活動をしています。下は3歳から上は17歳までの子どもを対象に、教育・リハビリ・就労支援を包括的にフォローし、社会参加出来るように支援を行っています。私の主な活動内容は、子どもへの作業療法実施、同僚への技術移転、家族へのワークショップ実施です。活動の中で、特に考えることは文化の違いです。パナマに来てすぐの時、同僚がムスツとした表情になっていることに気づきました。

私は、彼女は怒っているんだと判断し、理由がわからないので、そっとしておきました。その後、不意に呼ばれ振り返ると、無愛想な表情で私にお菓子をくれました。この時私は、彼女はそもそも怒っていなかった事に気づきました。私が25年間日本で培ってきた周りの状況を推察する「ものさし」は、この状況において意味をなしませんでした。そのことから、物事を決め

つけず、別の「ものさし」を培う柔軟さも異文化の人と交流する上で大切なものであると学びました。

私は現地の人達が笑顔になれることはもちろん、現在・未来の協力隊の人達も健康で楽しく活動ができることを祈っています。もちろん、公人として最低限のマナー、振る舞いは必要で、多くの人達の支えがあることも忘れてはいけません。それを踏まえ、隊員のワークライフバランスを良いものに出来れば、現地の人たちにとって活動がより意味のあるものに変化すると思います。そのために、実際の協力隊の生活を、日本人達に発信することが必要であると思います。この寄稿が協力隊の生活を知るきっかけになってくれれば幸いです。



カリブ海に旅行 他隊員と



民族衣装 同僚と

## ～～JICA海外協力隊2020春募集～～

世界では、約70か国・1000を超える仕事が必要とされています。現地の人々と共同しながら、あなたの技術・経験を開発途上国で生かしてみませんか。詳しくは、ホームページをご覧ください。

対象：日本国籍を有する1950年4月1日～2000年9月2日生まれの20～69歳の方。

募集期限：**3月31日(火)**

募集案内配布場所：高知県国際交流協会、県庁1階募集要項コーナー

応募方法：ホームページより

<http://www.jica.go.jp/volunteer/index.html>

問合せ：独立行政法人国際協力機構(JICA)高知デスク  
廣瀬 TEL:088-875-0022

### JICA海外協力隊のこと、もっと知りたい!!!

#### ①青少年グローバルリーダー育成フォーラム ～国づくりは人づくり～

日時：2020年8月9日(日)に延期

9:45～16:45

(14:35～JICA海外協力隊の体験談有り)

場所：オーテピア4F

(ホール/研修室/集会室)

JICA海外協力隊のOBOGへ直接話を聞いてみよう！パネル展示もやってるよ!!

#### ②JICA海外協力隊パネル展開催!!

日時：2020年2月20日(木)～3月27日(金)

場所：オーテピア3F展示の本棚

①②問合せ：高知デスクまで

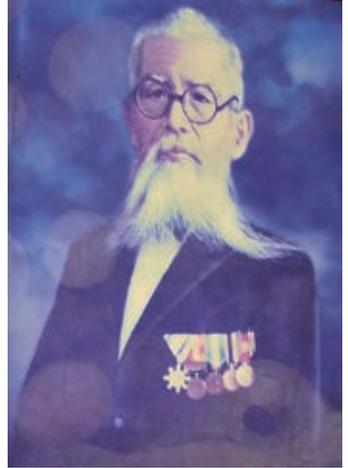


# ミクロネシアからモリ・ファミリーがやってきた！

## ～森小弁生誕150周年～

高知県国際交流課 チーフ 吉良 葉子

みなさんは、「<sup>もりこべん</sup>森小弁」という人物を知っていますか？森小弁は1869(明治2)年に高知市で生まれ、1891(明治24)年に、貿易会社の一員として、小さな帆船でトラック諸島(現在のミクロネシア連邦チューク諸島)に渡りました。その後、トラックの酋長の娘であるイザベルさんと結婚し、自身も酋長となってトラックの発展に多大な功績を残し、同地でその生涯を過ごしました。現在でもミクロネシア連邦チューク州には、小弁の子孫(モリ・ファミリー)が2,000人以上も暮らしており、ひ孫であるエマニュエル・モリ氏が、第7代ミクロネシア連邦の大統領を務めるなど、政財界で活躍する方々を多く輩出しています。



森小弁肖像画

2019年10月、小弁の生誕150周年を記念して、ミクロネシア連邦から小弁の孫やひ孫たち、総勢7名が来高しました。一行は、高知県の親戚と交流したり、田野町にある森家祖先の墓を訪問したほか、チューク州の学校と交流をしている三里小学校、エマニュエル元大統領が記念植樹をした牧野植物園などを訪れ、祖先のルーツである高知県での滞在を楽しみました。



来高したモリファミリー



三里小学校を訪問



森家先祖の墓を訪問



シンポジウムの様子

県もこの機会に、森小弁について広く県民の皆様にご存知いただくよう、10月18日にシンポジウム「土佐から南洋に渡った森小弁とモリ・ファミリー」を開催しました。シンポジウムにはモリ・ファミリーや駐日ミクロネシア連邦大使夫妻をはじめ、県内からも約100名が参加し、小弁の生涯を紹介する特別番組の上映、小弁の肉声レコードの公開、両地域の絆について語るパネルディスカッションの実施など、盛りだくさんの内容となりました。



森小弁肖像画  
(三里小学校郷土資料室収蔵)

モリ・ファミリーのみなさんは、高知県との関係を表す際に、「KIZUNA(絆)」という言葉をよく口にします。来高した方々は、今回の訪問を振り返り「これからも高知県とのKIZUNAを次の世代につなげたい」「モリ・ファミリーであることを誇りに思う」と述べ、また高知県を訪問することを約束してくれました。

森小弁という一人の人物がきっかけとなり、国と県との交流にまで発展したこの素晴らしい絆を、これからも大切につないでいきたいと思ひます。

第24回  
高知県文化環境功労者賞  
を授与されました！

# INFORMATION BOARD

## 高知日本語サロン 代表 尾中 美代子

高知日本語サロンは、2006年に始まりました。活動の内容は大きく3つに分かれます。

1つ目は、日本語学習支援（土曜日サロン、木曜クラス、日本語教師派遣など）で、外国人に日本語を教えたり、日本語で会話を楽しんだりする活動です。

2つ目は、イベント活動です。日本の伝統文化（着物の着付け、華道、茶道）や日本料理などを外国人と日本人と一緒に体験する活動です。また、学習者のお国の料理を教えてもらうイベントもあり、お互いの文化を学ぶいい機会になります。

3つ目は、ボランティア自身が日本語教育力を高める勉強会です。ボランティア活動の傍ら、通信講座を受けたり日本語教育能力試験を受けたりして有資格者になる方もいます。

土曜日の午後、高知県国際交流協会のラウンジで、いろいろな国から来た外国の方と日本人のボランティアと一緒に楽しく日本語を勉強しています。サロンに来る学習者は、国籍も、日本語を学ぶ理由も、日本語レベルも様々です。日本人ボランティアも仲間づ



日本語サロンの様子

くりのため、自分の生活を充実させるため、以前、外国で親切にもらったからなど、いろいろな理由で参加しています。多様性を楽しむことができる場所です。

この度、これまでの14年間のボランティア活動を評価していただき、2019年度の高知県の文化環境功労者に選ばれました。11月19日の表彰式は、厳粛な雰囲気の中、高知日本語サロンの他、7名の功労者の皆さんと席させていただきました。中には何十年も地域の伝統文化伝承や環境問題に取り組んでこられた方もいらっしゃる中、私たちの活動はまだまだこれから、という思いを強くしました。

2019年、土佐市、高知県立大学にも高知日本語サロンの支部ができました。今年は須崎市にもできました。日本語を勉強したいという外国の方、日本語を教えてみたいという方、あるいは教えるのはちょっとという方でも外国人を支援してみたいという方、お気軽に高知日本語サロンをのぞいてみてください。私たちは地域の外国人応援隊を募集しています。



お楽しみ忘年会の様子

### 実施場所と時間

- ・高知日本語サロン（毎週土曜日13:30～15:00 KIAラウンジ）
- ・ // 土佐支部（毎週日曜日13:30～15:00 水曜日 19:00～20:30 とさし男女共同参画センター）
- ・ // 須崎支部（毎週火曜日10:00～11:30 金曜日 19:00～20:30 土曜日 19:00～20:30 多ノ郷公民館）

## GENKI青年会 土佐弁ミュージカル2020「土佐クエ」

今年も地域外国人ボランティア団体GENKI青年会が土佐弁ミュージカルを開催します！

土佐弁ミュージカルとは、高知県在住の外国人（主にALTなどJETプログラム参加者）が文字通り、土佐弁で演じるミュージカルです。歌詞も台本も舞台のセットも全て外国人が作ります！

今年のテーマは「土佐クエ」です。ファンタジーRPGの「ドラゴンクエスト」に土佐の文化を盛り込んだミュージカルを是非観に来てください！

**（ストーリー）**昔々、土佐の国は太陽の光に恵まれた美しい国であった。しかしある日、大地を照らす太陽の光が消え、暗い雲が青空を覆った。噂によれば、恐ろしい竜魔王と、その手下である魔法の3姉妹が土佐の空から太陽を奪ったといわれている。そこで孤児の少年吉行が太陽を取り戻すために冒険に出る。

土佐弁ミュージカルは地域の国際交流を草の根レベルで促進することを目標としています。ミュージカルの入場は無料ですが、海外留学を希望する県内の学生に助成金を募る募金活動を行っています。以下県内7ヶ所で公演します。興味がある方はぜひ足をお運びください！

### 公演日時・会場

4月11日(土)	田野町	田野町ふれあいセンター	13:00～
	香南市	弁天座	18:30～
4月12日(日)	四万十町	窪川四万十会館	12:00～
	高知市	県民文化ホール(グリーンホール)	19:00～
4月18日(土)	大豊町	大豊総合ふれあいセンター	19:00～
4月19日(日)	四万十市	四万十市立文化センター	11:00～
	佐川町	佐川町立桜座	19:00～

※新型コロナウイルスの影響による開催の有無は、ウェブ等で確認してください。



◀▼2019「土佐の国のアリス」

お問合せ：GENKI青年会代表 ヤナギツル・タロウ・ジョー  
TEL:070-4322-7394

Website: <http://www.tosabenmusical.blogspot.jp>

Instagram: genkiseinenkai

Facebook: genki.tosaben

